



岩手大学 COE 特別講義(その5)

2004年度から採択されました岩手大学 21世紀 COE プログラム拠点「熱 - 生命システム関連学拠点創成」では、大学院生だけでなく、教職員の方々にも重要である「英語論文の書き方」について、今年度も、異なった角度からの特別講義を用意しました。研究者として、独立するためには、避けては通れない論文発表についての講義です。

お忙しいとは思いますが、万障繰り合わせの上、ぜひ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

特別講義(その5)担当・COE 客員教授
渡辺 正夫 (nabe@iwate-u.ac.jp)

なお、不明な点は、渡辺 (nabe@iwate-u.ac.jp) までお願いします。

日時：2005年11月24日(木) 13:00～17:00

場所：岩手大学図書館 2階生涯学習室

鈴木 剛 助教授

(大阪教育大学・教養学科・植物分子遺伝学研究室)

「凡庸な一研究者からの論文投稿のススメ」

本講義では、実際に論文を書いて投稿するときに経験する様々な出来事について説明する。

21世紀 COE プログラムの評価項目には、「若手研究者の育成効果」や「国内外に向けての積極的な情報発信」が含まれている。つまり、大学院生のような若手研究者が自分自身で国際誌に論文を書き、一人前の研究者として育っていくことが求められていると言えよう。質の高い論文を書くことは難しいことだが、まずは「論文投稿に慣れる」ことが必要である。では、どのようにしたら簡単に論文を投稿することができるのか。凡庸な一研究者である私が遭遇した様々な経験を述べながら、私なりの解釈で「論文投稿のコツ」を伝授したい。聴講する学生が論文投稿する際に参考になれば幸いである。